

令和3年度第2回市民が主役のまちづくり事業支援委員会会議録

1. 開催日 令和3年10月18日(月)
2. 時間 午前9時30分から午前11時10分
3. 開催場所 君津市役所 5階大会議室
4. 議題 (1) 令和3年度3次募集申請事業(1団体)の公開プレゼンテーションについて
(2) 令和3年度3次募集申請事業の採択協議について
5. 公開又は非公開の別
(1)については、公開。(2)については委員の自由な討論が制限されると認められるため非公開(君津市審議会等の会議の公開に関する規則第4条第1項第2号)。
6. 出席委員 10名
榎本 光男 磯貝 弘一 齊藤 はる代 佐藤 ますみ
白 駒 等 鈴木 富雄 永井 直樹 新田 力男
伯ヶ部 喜久男 藤川 英生
7. 出席職員 6名
市民環境部長 茂田 達也
市民活動支援課長 丸 博幸
市民活動支援係長 竹森 幸恵
市民活動支援係主任主事 木原 沙都美
市民活動支援係主事 近藤 佑樹
市民活動支援係主事 前田 真帆
8. 傍聴者 1名

開会(午前9時30分)

事務局 委員の皆さま、おはようございます。
本日はご多用のところ、ご出席を頂き、誠にありがとうございます。
開会にあたりまして、榎本委員長からご挨拶をいただきたいと思いま
す。

— 委員長挨拶 —

事務局 ありがとうございました。
それでは、委員会設置要綱第5条第1項により、榎本委員長に進行を
お願いいたします。

榎本委員長 それでは、議事に入ります。
本日の出席委員は10名でございます。よって、定足数に達しており
ますので、これより令和3年度第2回市民が主役のまちづくり事業支援
委員会を開会します。

なお、重田委員、大野委員は所用により、本日、欠席となっております
のでご報告いたします。

本委員会は、君津市審議会等の会議の公開に関する規則に基づき公開
されており、本日の傍聴者は1名です。

また、本委員会の会議録は、後日、市のホームページで公開されますの
で、ご了承願います。

— 傍聴人の入場 —

議題1「令和3年度3次募集申請事業（1団体）の公開プレゼンテーションについて」

榎本委員長 はじめに議題1「令和3年度3次募集申請事業の公開プレゼンテーシ
ョンについて」

議題2「令和3年度3次募集申請事業の採択協議について」事務局か
らの説明を求めます。

事務局 それでは、「議題1 令和3年度3次募集申請事業の公開プレゼンテー
ションについて」「議題2 令和3年度3次募集申請事業の採択協議につ
いて」ご説明をさせていただきます。

まず、本日のスケジュールからご説明いたします。

審査会資料の1番目に綴じてあります、「スケジュール」をご覧ください。
さい。

本日のプレゼンテーションは1件です。

9時50分からプレゼンテーションを開始し、終了時刻は10時45分を

予定しております。協議の進み具合により、多少時間を前後する可能性がございますので、予めご了承をお願いいたします。

次に審査方法についてご説明いたします。

審査は、応募書類と団体によるプレゼンテーションをもとに行います。

発表時間は1団体につき10分、質問時間10分の計20分といたします。

審査にあたっては、事前審査表に記載されている項目を主なポイントとして評価していただきますので、プレゼンテーションを受ける際には、審査項目に留意しながら聞いていただければと思います。

また、事前審査の点数は、あくまで仮のものであって、たたき台としてお示しするものであります。各団体側には点数を伝えておりませんので、その点、ご留意いただければと思います。

委員の皆さまには、団体のプレゼンテーションが終わりましたら、1次評価をしていただきます。

A3審査票の左端「審査の項目」にそれぞれの配点を記載していただきますので、配点にあった点数を、評価欄に記載してください。配点基準については、審査票の左下の点数の枠をご確認ください。

1次評価の記入が終わりましたら、事務局で集計作業をさせていただきます。その結果をもとに、評価できる点や不十分な点、採択にあたって条件を付けるべき点などについて協議していただきます。

協議が終了しましたら、最終評価をしていただき、結果について委員長からご報告をいただきます。出席委員の過半数が基準点以上を付けた場合、採択となります。

最終的な採否については、本日の審査会の結果をもとに、市長が決定いたしますので、よろしくをお願いいたします。

以上で、説明を終わります。

榎本委員長 事務局の説明についてご質問などがありましたらお願いいたします。
(発言するものなし)

榎本委員長 それでは、発表団体の準備が整い次第、プレゼンテーション審査を開始いたします。

事業番号 12

事業名 SEIWAアイデアソン

団体名 NPO法人いきいき清和

プレゼンテーション

榎本委員長 事業番号12番、事業名「SEIWAアイデアソン」のプレゼンテーションを開始いたします。
発表時間は10分、質疑応答が10分となります。
団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — ディスプレイにて説明 —

質疑応答

榎本委員長 ありがとうございます。
それでは質疑に入りたいと思います。委員の皆様から質問等ありましたら、お願いします。

議員委員 何点かお聞きしたいんですけども、事業の目的、地区は全市的なものなのか、それとも清和地区で限定してやろうとしているものなのか。子どもの範囲が小学校5年生から中学校3年生というお話をされてましたけれども、これは全市の子どもを対象としているのでしょうか。

団体 全市でございます。小学5年生から中学3年生がだいたい4千人くらい、君津市にはいらっしゃる形ですので、4千人全員にチラシを配布させていただきます。それで、興味がある子に清和に来てもらうという形になっております。

議員委員 1回20人程度ということですかね。子どもたちにチラシを配布することですけれども、事前に意向調査とかはこれからやるんですか。

団体 意向調査はしてないんですけども、すでに私の知り合いで声をかけて、非常にやってみたいという声は強くありましたので、20人は普通に集まるかなと。集まりすぎちゃう可能性もありまして、その場合は先着順という形で対応させていただく予定です。

議員委員 もう1つ、小学校5年生からということですが、今、確か小学校の指導要領で小学校2年生ぐらいからプログラミングをやるような形になっているかと思うんですけども、外孫が木更津にある学校からの案内で、マイクラかなんかの関係で、こういうものに行ったようなんですけども、学年はやっぱり小学校5年生からということになるのでしょうか。

団体 最初、僕らも、もうちょっと若い世代というのは考えていたんですけども、実際はディスカッションとかグループワークをしていただくんですね。4名で5チームに分かれます。4人なので、低学年すぎると話しが合わなかったりだとか、ちょっと難しいところも出てくると思いますので、小学校5年生、高学年ぐらいがいいかなという形で設定させていただきました。

議員委員 最後に、事業計画が今年度から2025年度で、5年間ということで予定されていますけれども、もし現時点でわかるのであれば、5年後にはどのような形のものをですね、やっていきたいのかなっていうのがあれば教えてください。

団体 具体的にはまだこれからなんですけれども、レベルアップしていきたいと思っています。1回目の今回来ていただいた子達はですね、たぶんITのベースが出来上がります。そのベースを使ってですね、2年後、来年やる、そしてさらにバージョンアップしていく。たぶん5年間続けた子はですね、小学校5年生から始めたら、中学校出る時には、もう高校に行かなくても就職先いっぱいあるだろうというぐらいに、なっちゃうんじゃないかなと正直思ってます。

あと、もう1つやりたいのが、学んだ子供たちに、地域のおじいちゃん、おばあちゃん含めて、スマートフォンだITだ、というのを教えてもらうような交流をやっていきたいなというのも考えています。それによって、スマホの使い方って簡単にやろうと思ったら出来るんですけども、今回のITのベースをわかって教えるか、わからないで教えるかでは非常に大きな差が出てきます。それがわかった中でおじいちゃん、おばあちゃんに教えるという形にしていくと、全てのITリテラシーという知識が全体的に上がっていくという形にもなるかなと。交流も1つ大きなポイントになるかなと思ってます。

議員委員 ありがとうございます。

新田委員 素晴らしい企画だなというふうに思いましたが、地区発で全市を対象にする事業というのは、これまであまりなかったように感じておりますけれども。まずこの案内を見た時に感じたことは、公民館事業でこういったような小規模な事業はやっておられるんですけども、年間を通してというのは、中々ないように、私は感じております。したがって、こういう事業は公民館の方でやると、全市に色々と繁栄するというようなことが、非常にインパクトがある、そういった内容になるんじゃないかなと感じました。

そういった中で、お子さんが対象ということなんですけれども、活動の目的からするとですね、まずはお子さんの育成ということがベースになるわけですね。そうすると、目的達成のためには、先程ご質問がありましたけれども、ターゲット5年後というような計画になるんじゃないかなと感じておられるんですけども、その辺についてはいかがでしょうか。

団体 そうですね、おっしゃる通り、最初は本当にくだらしないものからスタートすると思うんです。例えば、朝起きれないから、目覚ましで起きれる

ようなものを作ってみようとか、本当にそこからかもしれないです。ただ、最終的にはサル対策をできるITネットワークを山の中に張り巡らしてですね、どこにいるんだとか、ちょっと高度なところまで本当にいければなという思いもありますし、それが私は出来るんじゃないかなってというのが1つあります。

もう1つ、最初のご指摘のとおり、実は最初は、旧秋元小学校が整備されて、運営チームが色々動いてますけども、あそこですってなんです。これから秋元小が工事に入っちゃうところもありまして。僕は秋元小の運営チームに入っていて、秋元小が出来上がった段階でそちらに3Dプリンタを置くとかって話もあるので、そういうのも使ったりとか、その流れがうまく君津全体に広がっていただければ、凄く嬉しいことですし、なっていただけたらなという形でございます。

新田委員 学校に関連する話ですので、教育委員会とかと非常に関わりが出てくると思うんですけども、その辺の連携とかは考えておられますか。

団体 ぜひやりたいというお話はDX課の課長さんと、この間も話して、そこから教育部長に話しとくよってというお話もしていただけてますので、出来れば広げてやれば最高かなと。ただ、最初の1回目なので、まずはこれでバシッとやったという実績とですね、第1歩を踏み出ささせていただいて、その後、広がっていったら嬉しいなと思います。

藤川委員 新田委員の質問と関連するかと思うんですが、現在の小学生にプログラミング教育をスタートかけてましたよね。この辺の状況との絡み、計画に載っているカリキュラムとの絡み、この辺をもう少しご説明いただけますか。

団体 プログラミング講座は学校の方でもやってますし、パワーポイントの使い方、ワードの使い方、色々やってます。それはそれで、オッケーなんですけれども、実は学校でやる授業というのが、仮想空間の中で物を動かしましょう。とか、ゲームのプログラミングで、作りましょう。とかですね、そういうのが主体なんです。今回は、どっちかっていうと現実の世界とですね、繋がっていくところを作り出したいなって。もちろん、プログラミングも基礎知識でちょっとはやるんですけども、プログラミングメインではなくて、実際に自分たちで作ったものが動き出してですね、それが実際に手に取って見えてくる。それでITって楽しいねと子供たちがさらに思ってくれて、伸びていくという形になってくればなという思いです。

だから、学校の教育プラスαみたいな感じで見ていただければなと思っています。

- 藤川委員 カリキュラムをちょっと見たんですが、これはプログラミング教育を受けた小学生がこちらに来るとのことですね。
- 団体 みんな受けてますから、だいたい。ただ、例えばパソコンの仕組みですか、CPUはなんだ、メモリーはなんだ、とかっていうのは、実は学校であまり教えないんですね。つまり、中身ですね。あと、インターネットって何なのみたいな、実はそこを飛ばして、じゃあすぐプログラミングやりましょう、iPadを使いましょうっていうのが、今のプログラミング教育なんですね。それはそれで間違っていないし、いいんですけど、もっとベースのところをしっかりと教えながら、他とも繋がるんだよ、スマホとPCだけがITじゃないんだよってことを伝えたいと思っています。
- 藤川委員 非常に大きな目標、君津からGAF Aをというお話がありましたけれども、それとの乖離がねあまりにも大きい。5年計画になってますけど、どういう具合な日程で、その先をどういうふうに考えているんですか。
- 団体 GAF Aに関しては、出てくればいいなという思いがあって、書いています。つまり、夢という形ですね。そこまでにいくためには、簡単ではないなっていうのもありつつもですね。たまたま僕は、IT業界に20年位いまして、東京で勤めてまして、その関連で本当のスペシャリストとの人脈がたまたまありまして、彼らに話すと、みんな協力してくれるというお話をいただいて、そうすると本当の意味での、人の役に立つようなITを作れるような人材が、いつのターンでって言われちゃうとあれなんですけれども、出来るんじゃないかなっていう期待と想いでやっていきます。
- 藤川委員 とにかく頑張ってください。
- 榎本委員長 この活動はまだ1回もやってないですね。
- 団体 はい。1回もやっていません。これからです。
- 榎本委員長 もし補助金が取れば始めたいってことですね。
- 団体 はい。
- 榎本委員長 それから小学5年から中学3年までって言いましたけど、中学3年の子が来たら、1年で終わりですか。
- 団体 もちろん、継続してやっていただきたいというか。
- 榎本委員長 5年やると20歳になります。
- 団体 20歳になっても全然ウェルカムです。
- 榎本委員長 1回20人って枠がもっと広がっちゃったら。
- 団体 そこはちょっと調整しながら。次回からは、ベースを教えなくてもいいですし、ラズパイは1人1つずつ配りますんで、それを使ってやりな

さいという感じにもできますし。

榎本委員長

1回目をやった時に20人集まったとして、その20人がずっと来たいって言ったらどうですか。

団体

それは凄く嬉しいことで、できるだけ対応できるように、頑張るしかないなど。

榎本委員長

だから、20人がずっと固定しちゃうと、他の子がね。

団体

新規は新規でどんどん入れていきながら、集まった20人の子に対しては、バージョンアップして行って違うことをやっていただくような形を考えてきたいなと思っています。

新田委員

予算の関係でございます。ラズベリーパイの20台、あるいはカメラ20台、ディスプレイも20台、こういった物については、参加者への貸与になるんですか。

団体

終わった後にプレゼントというか、それを使って楽しんでねという形で、差し上げようかなと思ってるんですけども。

新田委員

そうすると、次回にまた同じような形で請求すると。

団体

新規に関してはそうですね。

新田委員

これは、回数使えば老朽化するという考え方ですか。

団体

使おうと思えば5、6年使える形ですね。

新田委員

希望ですけど、できればなるべく、貴重な税金を使う訳ですから、その辺はうまく回していただきたいなという思いがありますね。

それと、予算の中で、パソコンのレンタル料が、3千500円の5台というふうにあるんですが、ディスプレイ等については20台、この兼合いというのはどういった感じなんでしょうか。

団体

説明しづらいんですけども、インターネットに繋げる時に、まず、Wi-Fiがありますよね。そこにPC5台が接続されます。さっき4人で1チームっていうお話をさせていただきました。ですので、5チームできるんですね。で、5チームに対して1台PCを充ててます。そこに対して、ラズパイからネットワークを通じてですね、そのPCに入るんです。そのPCからインターネットに出るみたいな。そのルーティングのやり方色々あるんですけど、そういう仕組みなんだよ、とかを教えたいために、PCを5台用意してあります。

白駒委員

聞いていて、大変将来性があるって、楽しみにしてるところです。今、色々質問あったんですが、1つ予算的なもので。1回千円で20人ということは、1人最終的に10回参加すれば1万円という金額になりますよね。それが保護者として、高いかどうか安いのかというふうに考えていました。その辺がもう少し安くなった方が、要は裕福な家庭だったら

1万円いいかもしれませんが、ちょっと苦しいところは、予算の関係でちょっと参加させられないっていう状況が出るのかなというところが心配なところが1点。

それから、もう1点が、これから月に2回ずつ、3月に発表会ということで、その発表会は一般公開をするかどうか。希望とすればですね、一般公開してさらに広めていってほしいという事と、市の方にもですね。ぜひ、このNPOがやるよりも、市の方で積極的に関わっていった方がいいんじゃないかなと思うんです。そういう意味でも、一般公開をしてですね、広く、また市全体を上げて、こういう取り組みをしてほしいなというふうに思いました。

団体

千円に関してはですね、本当は最初、無償でやりたかったんですけども、今回、自由企画ということで、市の補助が80%というところですね、どうしてもすごい赤字になってしまうっていうので、千円にさせていただいた形でございます。一般に、例えば、塾でプログラミング教室とか結構やったりするんですね。その時の費用が入会金で、まず2万2千200円払ってみたいな、月6千、7千円というのが普通になってきます。で、値段的にはまず凄く安い。ただ、本当はやりたい子でも、お金の面がっているのはやっぱりありますので、そこはなんとかしたいなって。ぜひ君津市に頑張っていただきたいなっていうのもあります。

榎本委員長

他にご質問なければ終了したいと思いますですが、よろしいですか。

以上で、プレゼンテーションは終了となります。

お疲れ様でした。

(団体退場)

議題2 令和3年度3次募集申請事業の採択協議（非公開）

閉会(午前11時10分)